

景観という戦略

内藤 廣
論説委員

東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授

韓国大統領選で李明博氏が勝った。李氏は実業家として実績を上げ、ソウル市長になり、高速道路を取り壊して川を再生させるといった国際的にも知られるようになったチョンゲチョンのプロジェクトを実現させた。韓国は、何事にもトップダウンで迅速に物事が動き、トライアンドエラーで積極的に挑戦していく、という印象がある。様々な問題もあるはずだが、この動きが社会にダイナミズムを生み出していることも確かだ。新大統領のもと、韓国は産業政策と都市政策においてさらに積極的な施策を展開するに違いない。こうした一連の動きは十年前にすでに始まっていた。

1998年、韓国の金大中大統領とイギリスのブレア首相が会談し、「21世紀デザイン時代宣言」という共同声明を発表した。デザインを国の主要な戦略のひとつとして扱う、という態度表明だ。以後、この二つの国のデザイン分野の発展には目を見張るものがある。イギリスでは大使館がデザイン振興の中心になり大きく貿易額を増やした。また韓国製品は今や日本製品を脅かしつつある。

韓国のこの分野に対する対応は明解だった。まず、産業資源部傘下の韓国デザイン振興院を強化した。そして、主要企業の経営者レベルの意識改革からはじめたところがなかなか賢い。デザイン戦略を企業戦略のコアに位置付けるように教育したのだ。次に、国際競争力を持つ可能性のありそうな中小企業とデザイナーとを結び付けた。さらには、デザイン教育にも力を入れ、将来不足するはずのデザイナーの育成にも取り組んだ。十年経って、こうした一連の動きが実を結びつつある。

Gマーク(グッドデザイン賞)選定制度は、わが国を代表するデザインイベントとして50年の歴史がある。文具から家電製品、自動車から都市デザインや土木デザインまで、ありとあらゆるデザインアイテム 2500点が、年に一度東京ビッグサイトの会場を埋め尽くす。2007年度のGマークの審査では、韓国製品の進出が大きな話題になった。どう見ても、携帯電話や家電製品について日本のデザインに勢いが無い。明らかに負けているのである。わが国でも、これまで民業に任せ切りで放置してきた産業分野でのデザイン戦略を組み立て直す時期に来ていることは疑う余地がない。

歴史を見れば明らかのごとく、わが国の文化的風土は、局面ごとの対処の仕方である「戦術 (Tactics)」は得意だが、大局的に事態を捉え、大きく構想を描いて勝利に導く「戦略 (Strategy)」を構築することは苦手だ。韓国に続く超大国中国の台頭によって、極東地域における産業分野だけでなく、それを基盤から支える都市間の競争が激化することが予想される。都市政策にも場当たりの「戦術」ではなくて、信念に基づいた強力な「戦略」が求められる季節が到来しつつある。大事は一朝には成らない。特に都市政策においては、骨太で長期的な「戦略」が必要とされる。

「美しい国づくり政策大綱」と「景観法」は、人口減少へと向かう大きな社会的な変化を的確に捉えた施策だった。行政としてはめずらしく戦略的な方向付けといえる。しかし、時間の経過とともに、この大戦略も局所ごとの戦術論の中で色褪せ、方向性を見失いつつあるように感じている。これではまずい。

施策としての「美しさ」は実利的なデザイン戦略であるべきだ。樹木や動物、さらには自然を見れば明らかのように、「美しさは生存のための最適の様態」であり、生存という実利を求めると必然的に現れるものと考えたい。たとえば、里山や棚田の景観はかつての農村社会の生存の様態のひとつであり、観光で賑わう伝統的町並みもかつての商業社会の生存の様態であった。生存のために厳しく実利を求めると、後世に残すべき「美しさ」は現れるのである。

このように書くと、経済性と安全性を追求する従来の在り方こそ生存の様態を具現化しているのではないか、という声が聞こえてきそう。それは違う。高度経済成長下の古い社会では正しい戦略だったかも知れない。しかし、人口減少と成熟化と国際化が同時に襲ってくるこれからは、まったく異なる戦略が求められる。極論すれば、「美しくないものは、本当の意味での生存の様態になっていない」と認識すべきだ。万人がその中に「生存のための最適の様態」を見出しうるようなもの、それは必ずその時代の美しさを携えているはずだ。そこに景観に関するデザイン戦略の要諦がある。

「景観法」で踏み出した戦略は誤っていない。「景観」を平板な旧来の美学の中で捉えるのではなく、近未来の「生存のための最適の様態」として戦略的に捉えるべきだ。都市間競争や国家間競争を生き延びるために、これを国家戦略の柱としてさらに強化すべきである。世界の情勢を見れば、わが国が誇りを持って生き延びていくには、この戦略を取るしかないを考える。